



平成20年10月6日

各位

会社名 株式会社エルモ社
代表者名 代表取締役社長 竹内 清
(JASDAQ・コード 7773)
問合せ先 取締役 執行役員
経営管理本部長 渡辺 毅
電話番号 052-811-5133

平成21年2月期中間期(連結・個別)業績予想および
通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年4月10日付当社「平成20年2月期 決算短信」ならびに平成20年7月10日付当社「平成21年2月期 第1四半期財務・業績の概況」にて発表いたしました平成21年2月期(平成20年3月1日～平成21年2月28日)の連結および個別の中間期および通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成21年2月期 連結業績予想数値の修正

(1) 中間期(平成20年3月1日～平成20年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	8,473	395	379	214
今回修正(B)	9,543	515	512	291
増減額(B-A)	1,070	120	133	77
増減率	12.6%	30.4%	35.1%	36.0%
(ご参考) 前期実績(平成20年2月期中間期)	5,989	365	366	209

(2) 通期(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	17,382	823	780	459
今回修正(B)	18,500	882	860	500
増減額(B-A)	1,118	59	80	41
増減率	6.4%	7.2%	10.3%	8.9%
(ご参考) 前期実績(平成20年2月期通期)	12,239	643	654	353

2. 平成21年2月期 個別業績予想数値の修正

(1) 中間期（平成20年3月1日～平成20年8月31日） （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	7,612	224	196	97
今回修正 (B)	8,514	248	238	126
増減額 (B-A)	902	24	42	29
増減率	11.8%	10.7%	21.4%	29.9%
(ご参考) 前期実績（平成20年2月期中間期）	5,332	140	120	116

(2) 通期（平成20年3月1日～平成21年2月28日） （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	15,373	299	242	103
今回修正 (B)	15,930	300	265	105
増減額 (B-A)	557	1	23	2
増減率	3.6%	0.3%	9.5%	1.9%
(ご参考) 前期実績（平成20年2月期通期）	10,913	222	184	81

3. 修正の理由

平成21年2月期中間期は海外、特に米国における書画カメラ販売が初等教育市場向けで大きく伸長したことにより売上が期初計画を上回り、為替が想定よりやや円安に推移したこともあって利益率も改善いたしました。また、当社グループに加わったSOA（サンヨーオーエー）グループの販売も順調に推移したことで前年より大幅な売上増になりました。これにより中間期の連結売上高は9,543百万円、連結営業利益は515百万円となる見通しになりました。

初等教育における書画カメラの活用は米国で本格化しましたが、最近では他国へも広がりを見せており、当社では国内部門の強化に加えて台北事務所の開設（8月）、ロンドン支社の開設（10月）等によりグローバルなマーケティング活動を推進しております。下期につきましては、サブプライム問題に端を発した米国経済の落ち込みにより中間期の様な高い伸長率は見込み難いものの、書画カメラ販売は順調に拡大すると考えており、来期以降に向けてのマーケティング活動を積極的に進めてまいります。以上により、通期の業績見通しにつきましては、連結売上高で18,500百万円、連結営業利益は882百万円、連結経常利益は860百万円を見込みます。

（注記）上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上